

スズキ、スズキ部品センター神戸にて オンサイト PPA による再エネ電力の使用を開始



スズキ部品センター神戸の外観



屋根上に設置した太陽光パネル

スズキ株式会社は、再生可能エネルギーの活用拡大の取り組みとして、スズキ部品センター神戸※¹（兵庫県神戸市西区）において、オンサイト PPA※²による再生可能エネルギー由来の電力を 11 月 20 日より利用開始しました。スズキにおいてオンサイト PPA は初めての導入となります。

今回の太陽光パネル容量は 249.6kW で、スズキ部品センター神戸および同敷地内のスズキ自販兵庫の店舗にて、発電された電力を年間で合計 141,890kWh 使用する見込みです。この取り組みにより、使用電力の約 51%が再生可能エネルギー由来の電力に置き換わり、年間約 60 トンの CO₂排出削減を見込みます。

スズキは、政府が掲げる達成目標時期に基づき、2050 年のカーボンニュートラルの達成を目指しています。今後も、再生可能エネルギーの活用拡大の取り組みの一つとして PPA の導入を計画し、CO₂排出量を削減してまいります。

※¹ スズキが全国 6 か所（苫小牧・仙台・東京・愛知・神戸・福岡）に設置しているスズキ四輪車の純正部品・用品の供給拠点

※² 発電事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組み。PPA は、Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略

以上